

「からくり技術」による現場のものづくり力強化

日本生産性本部(日本IE協会)主催

IE視点での生産設備・改善ツール自前化工夫

会場参加1日
(オンライン可)

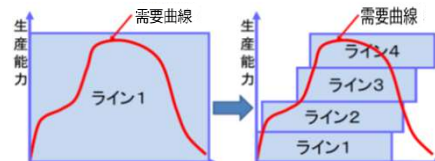
セミナー概要

安価・小型・自前化が成功への第一歩

円の乱高下に生産拠点や設備投資計画が振り回されていませんか。競争力向上に、高度な自動化や無人化を狙った大規模な設備投資が正解ではありません。非力でも意欲のあるシニアや女性が働ける現場を提供するのも一つです。からくりを使って重筋作業を廃止し、自前で安価で小さい設備、治具を導入し減価償却を小さくしましょう。現場で苦闘する技術者は安易に技術志向に走ることなく、改善の着眼点やIE手法の基本からあるべき姿を考えましょう。需要増を期待した資金力に依存する大規模投資ではなく、気まぐれな需要変化に規模が縮小しても利益を出せる生産ライン構築を目指す考えを紹介します。

本セミナーでは、次のことを重点的に学ぶことができます。

- ・現場における作業改善を活発化する道具の発想
- ・半自動化ライン設備の改善の着眼点
- ・需要変化に強い小規模な能力の自動化ラインの着眼点



小規模生産能力ラインの展開イメージ

講師



日本IE協会 専任講師
株式会社石川改善技術研究所

代表取締役 石川 雅道 氏

住友金属工業(株)を経て1977年ソニー(株)入社。生産技術は「IE的な手法」と「技術の革新」の両輪で進めるべきという持論を元に、デバイス・半導体の生産ラインの企画構想や設備治具開発を行う一方、IEやトヨタ生産方式による製造現場の生産性向上・品質歩留向上を長年に渡って担当。工場での作業改善・品質向上や在庫削減指導を行いながら、「安価で小型の設備・治具で現場を更に進化させる」をスローガンに「からくり技術」として、国内外の工場における生産

技術や製造技術の人材育成と指導を行い、大きな成果を上げた。2009年に退社して起業。自ら体験したことを元に前述に関連した領域を軸に、IE協会の講師やシニア人材アドバイザーとして大手や中小企業の現場で働く人の育成支援等で現在に至る。

開催日程とスケジュール

通い1日 (オンライン受講可)

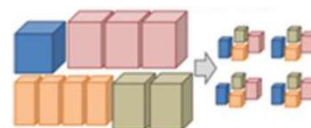
2026年1月19日(月)

第1日

10:00

10:00 開始

- セル生産と共に発展した自前「からくり技術」
 - ・雇用形態に関わらず進化したセル生産
 - ・セル生産を支えた設備の着眼点
 - ・装置型産業でセル生産に発展させる鍵
 - ・重要性を増す生産技術者の役割
 - ・「からくり技術」と呼ぶ背景
- 『現場を活発化する改善ツールの着眼点』
 - ・「もったいない」がモノづくりの原点
 - ・技術者にも必要なIEの視点
 - ・改善ツールに身近な物理の応用
 - ・動作のムダを廃除する着眼点
 - ・部品を一個ずつ取るための着眼点
 - ・改善現場に適する情報の自動化(参考)
- 『違いをつくるための着眼点』
 - ・安く小さい治具設備を実現する基本
 - ・付加価値を生む「機能」に着目
 - ・無付加価値にお金を掛けない
 - ・治具や設備を工夫する着眼点
 - ・ボカヨケのコツは「違い」に着目
 - ・アイデアは日頃の「想像力」から
- 『知恵を集めて自前化生産ライン』
 - ・セル生産思想を工場/生産ラインに適用
 - ・100×1より10×10で
 - ・自前化する設備の基本思想
 - ・生産ライン/設備実現の着眼点と事例
 - ・小規模化で活路を開いた事例
- 人材育成と活動の在り方
 - ・啐啄(そったく)の機に
 - ・自ら考えるエンジニアに
 - ・現場技術者の教育カリキュラム
 - ・全社挙げた活動展開に
- 『まとめ』
 - ・Q & A とアンケート



高額で大きな設備を 安価に小さく

17:00

17:00 終了

1名あたり参加費
(消費税10%込)

商工研会員
46,200円

一般(参考)
52,800円

テキスト代込み

会場：千代田区平河町近隣 会議室